**アルゼンチン内政・外交（２０１７年９月）**

**１　内政**

**（１）大統領府・政府**：２０１８年予算法案の下院議会への提出

　１５日，ドゥホブネ財務大臣は，２０１８年予算法案を議会下院に提出した。同法案では，歳入は2兆1,043億ペソ（対前年比＋19.0％），一次歳出は2兆4,993億ペソ（同＋14.8％），債務償還費を含めた歳出総額は2兆7,832億ペソ（同＋16.0％）となり，債務償還費を除く基礎的財政収支は3,950億ペソの赤字，総合収支は6,789億ペソの赤字となっている。（15日時点で１ドル＝約17ペソ，１ペソ＝約6.5円。）

**（２）その他**：航空労組によるストの実施

　６日，ＬＣＣの参入に反対する５つの航空労組によりストが実施された。約１５０便の国内線及び国際線が欠航となり，乗客約１万５千人の足に影響が出た。

**２　外交**

1. **国連**：ミケティ副大統領の第７２回国連総会出席

９月１８～２１日，マクリ大統領に代わり，ミケティ副大統領が第７２回国連総会出席のためＮＹを訪問した。ミケティ副大統領は一般討論演説において，自由貿易体制の必要性を強調しつつ，メルコスールのＦＴＡ交渉では，日本について言及し，関係の強化を訴えた。また，女性の地位向上や障害者対策について強調すると共に，ベネズエラ情勢やフォークランド諸島問題などにも触れたスピーチを行った。また，ミケティ副大統領はトランプ米大統領主催のベネズエラ情勢に関する夕食会（１８日）等にも出席した。

**（２）イスラエル**：ネタニヤフ・イスラエル首相のアルゼンチン訪問

　１１～１２日，アルゼンチンを訪問したネタニヤフ・イスラエル首相はマクリ大統領と首脳会談を実施した他，共同声明を発表した。また，両国の間で，社会保障，税関協力，治安協力協定及びホロコースト関連の資料に関する４つの文書に署名が行われた。

なお，共同声明後に実施された午餐会において，マクリ大統領は，来年１月にはミケティ副大統領が，また，マクリ大統領自身もその数ヶ月後にイスラエルを訪問予定である旨述べた。

1. **シンガポール**：フォリー外務大臣のシンガポール訪問

　４日，フォリー外務大臣はシンガポールを訪問し，バラクリシュナン・シンガポール外相との会談を行った。同会談において両外相は，技術協力及び三角協力に関する覚書に署名を行った。また，フォリー外務大臣は，バラクリシュナン外相との会談後，在シンガポール亜大使館の再開設に関する式典に出席した。

**（４）パラグアイ**：

　ア　カルテス・パラグアイ大統領のアルゼンチン訪問

　１２日，アルゼンチンを訪問したカルテス・パラグアイ大統領はドミンゲス南米サッカー連盟（ＣＯＮＭＥＢＯＬ）会長と共に，マクリ大統領と会合を行った。同会合において，亜，パラグアイ，ウルグアイ３国による２０３０年のサッカーＷ杯共催を進めていくことについて話し合われた他，インファンティーノ国際サッカー連盟（FIFA）会長と３カ国の大統領とのブエノスアイレスでの会合実現に向けた働きかけを継続していくことに合意した。

　イ　フォリー外務大臣のパラグアイ訪問

　２８日，フォリー外務大臣はパラグアイを訪問し，ロイサガ・パラグアイ外相と会談を行った。両外相は，本年５月に両首脳の間で署名されたヤシレタ二国間公団の債務問題に関する覚書にかかる外交文書に署名を行った。

**（５）ブラジル**：カブレラ工業生産大臣のブラジル訪問

　１４～１５日，カブレラ工業生産大臣はブラジルを訪問し，ペレイラ伯産業貿易サービス大臣と共に工業生産・貿易委員会会合に出席した。また，１４日，両国の工業所有権庁（ＩＮＰＩ）間で，工業所有権に関する協力強化を目的とした覚書に署名が行われた。

**（６）オーストラリア**：第１回二国間協議の実施

　５日，当地において，第１回二国間協議が実施された。両国の間で，貿易ミッションの促進を含めハイレベルでの交流を引き続き促進していくことで合意すると共に，原子力，宇宙，南極，ジェンダーの平等，財政，スポーツ及び教育等の分野における新たな協力の可能性についても話し合われた。また，本年１２月に亜で開催されるＷＴＯ閣僚会議や２０１８年のＧ２０への協力の他，オーストラリアは，亜のＯＥＣＤ加盟希望に対する支援についても改めて言及した。

**（７）メルコスール**：

　ア　第２回メルコスール・ＥＦＴＡ自由貿易協定交渉の実施

　８月２９～９月１日，ジュネーブにおいて，第２回メルコスール・ＥＦＴＡ自由貿易協定交渉が行われ，亜からはカルピンティエリ外務次官（米州経済統合・メルコスール担当）が出席した。今次交渉において両者は有意義な意見交換ができた旨評価しており，次回会合は１０月１６～１７日，開催の予定。

　イ　メルコスール・ＥＵ自由貿易協定交渉

　４～８日，ブリュッセルにおいて，メルコスール・ＥＵ自由貿易協定交渉が実施され，亜からはレイセル外務副大臣（国際経済関係担当）が出席した。両ブロックは，引き続き年内の実質合意は可能との考えを示しており，次回交渉は，１０月２～６日，ブラジリアで開催の予定。

**（８）ＥＵ**：亜産バイオディーゼルの関税率引下げ

　１９日，ＥＵは亜産バイオディーゼルの関税率を２４．６％から，４．５～８．１％に引き下げることを正式に発表した。

**（９）Ｇ２０**：「Ｕ２０＋」会合の当地開催予定

　４日，ブエノスアイレス市はアルゼンチン国際関係評議会（ＣＡＲＩ）と共に実施したセミナーにおいて，ブエノスアイレス市が，世界的にインパクトを与える都市問題について，Ｇ２０加盟国の市長等と議論する「Ｕ２０＋」会合を２０１８年にブエノスアイレス市で実施する予定である旨発表した。

**（１０）中国**：

　ア　原子力発電建設

　１日，リオネグロ州議会は，ヴェレティルネック同州知事により提出された同州内における原子力発電所の建設を禁止する法案を賛成４４，反対１で可決した。他方で，ペニャ内閣府官房長官は，「リオネグロ州知事による決定を尊重するが，我々は原発建設に関心があるので，他の候補地を探しているが，おそらくアトゥーチャ（ブエノスアイレス州）になるだろう」と発言した旨報じられた。

　イ　苟仲文中国オリンピック委員会会長のアルゼンチン訪問

　１４日，苟仲文（Gou Zhongwen)中国オリンピック委員会会長（兼中国国家体育総局局長）がアルゼンチンを訪問し，マクリ大統領と会談を行った。その中で，本年５月（のマクリ大統領の訪中時）に署名された協力協定に従い，２０１８年に当地で開催予定のユース五輪に向け，中国のサッカー発展のための技術協力について話し合いが行われた。

**（１１）北朝鮮**：

　ア　北朝鮮の核実験に対する非難声明

　３日，亜政府は，北朝鮮による核実験が新たに実施されたことを改めて強く非難する旨の同日付プレスリリースを発出した。

　イ　北朝鮮のミサイル発射に対する非難声明第

１５日（亜時間１４日），亜政府は，北朝鮮により日本の北海道の上空を通過する弾道ミサイルが新たに発射されたことを改めて強く非難する旨の同日付プレスリリースを発出した。

**（１２）米州開発銀行（ＩＤＢ）**：モレノＩＤＢ総裁のアルゼンチン訪問

　１１～１２日，アルゼンチンを訪問したモレノＩＤＢ総裁は，カプート金融大臣との会合において，ＩＤＢと世銀は９億米ドルにのぼるインフラ開発基金の創設を発表した。また，ＩＤＢは技術革新・治安対策等のプログラム，亜国家統計局（INDEC）の統計の強化，透明性強化，サンマルティン鉄道の改修，首都圏の上下水事業等に関する１２億８千万米ドルにのぼる対亜融資につき承認した。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(了)